

## 〈第6回〉 看護について [R6.10.7(月)]

10月7日(月) 15:40~16:30、大会議室にてわたしのみらいゼミ「看護について」を実施し、12名の生徒が参加しました。小豆島中央病院の協力のもと2名の看護師さんをお招きし、看護についての説明をしていただきました。実際に地元の病院で活躍されている方から看護師さんの業務内容や勤務形態、大変なことややりがいなど詳しい話を聞くことができ、参加した生徒たちは有意義な時間を過ごせたようです。

ゼミ終盤の質疑応答においては参加生徒からの「看護師として意識していることはあるか」、「看護師になるために高校生の今できることはあるか」といった質問に対して、「まずは自分の疲れが患者さんに伝わらないように身だしなみに気を付けている。また、患者さんの言葉を否定せずいったん受け入れてあげること。」「今は高校の勉強を頑張って、看護師以外に自分の興味のあるものがないか探しておくといい。そして、例えばそれが英語なら英語を用いる看護の仕事に就くなど、興味のあるものと看護を結び付けていけば良い。」など、生徒にはなかった視点の熱い回答が寄せられ、参加した生徒の視野が広がったことは間違いなさそうです。



↑ 看護師の方の話を聞く様子



↑ 看護ふれあい体験の動画を見る様子

生徒の感想（振り返りシートより抜粋）

- ・ 看護師といえば病院で働くイメージが強かったが、看護師の資格を取得すれば保健所や介護施設、またトラベラーナースやマウンテンナースなど、様々な場所で活躍できると知ることができた。
- ・ 職場によっては語学も大事であると分かったので、英語の勉強にも励んでいきたい。
- ・ 看護師になってからの自分の姿が想像できた。どこで働くか進路の幅が広がった。
- ・ 将来島に帰ってきて、小豆島の医療を支えたいと思った。
- ・ 看護師の方が分かりやすいスライドでお話してくださり、貴重な機会だと思った。

次回の「わたしのみらいゼミ」は??

## 小豆島のおじいちゃん、おばあちゃんの秘密 ～認知症サポーター養成講座～

by 小豆島町役場高齢者福祉課 R6.10.21(月)

小豆島町役場の方が、クイズや高齢者疑似体験、寸劇などを通して、「高齢者」や「認知症」について楽しく教えてくれます。介護分野に進みたいと思っている人はもちろん、医療系を視野に入れている人、進路が決まっていない人、はたまたこれからの自分のおじいちゃんおばあちゃんとの接し方について知りたいなどと思っている人など、是非参加して、自分の視野を広げよう！ (申込先：石田先生、黒田先生)